

国際園芸家協会（AIPH）博覧会委員会で 進捗報告を行いました

横浜市では、2027年の国際園芸博覧会の開催に向けた取組を進めています。令和元年9月に国際園芸家協会（AIPH）より開催承認を受けたのち、半年に一度AIPH博覧会委員会において取組状況の進捗報告を行っています。

10月19日、オンラインで開催されたAIPH博覧会委員会において、横浜市の進捗報告を行いました。

AIPH 博覧会委員会の概要

開催日時：令和3年10月19日（火） 16:00～22:00（日本時間）

開催方法：オンライン

参加者：国際園芸家協会会員、国際園芸博覧会開催都市関係者等

主な内容：国際園芸博覧会開催都市等が準備の進捗状況等を報告。

A1クラス（最高レベル）の開催都市としては、アルメーレ（オランダ：2022年開催予定）、ドーハ（カタール：2023年開催予定）、横浜市が報告を行いました。

横浜市からの報告

前回（3月）からの進捗として、6月に博覧会国際事務局（BIE）への認定申請に向けた手続きを進めていく旨につき政府の閣議了解がなされたこと、市民や市内イベント等と連携した広報PR活動、会場計画やコンテンツ案の検討状況等について報告を行いました。

報告終了後、サステナビリティ（持続可能性）や交通アクセス、会場の植物調達についての質問があり、グリーンインフラや再生エネルギー導入、輸送計画の検討を進め、花き・樹木の調達にも万全を期すように準備を進めていると回答しました。

横浜市の報告資料については、以下のURLをご参照ください。

（報告資料）

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/toshi/2021/1020engeihaku.files/0002_20211020.pdf

（イメージ動画）

<https://youtu.be/tKTgHIDPuJM>



質疑応答の様子



2027 国際園芸博覧会 ～世界の花、横浜で咲かせよう～

国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催します。

メインテーマ：幸せを創る明日の風景

開催期間：2027年3月～9月

開催場所：旧上瀬谷通信施設（旭区・瀬谷区）

◆国際園芸博覧会の詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/>

お問合せ先

都市整備局国際園芸博覧会推進課 担当課長 後藤 勝 Tel 045-225-8928